

多様化するテレビ放送にも対応した 日本アンテナの家庭用アンテナパーツ

普段の生活の中ではあまり目にしないアンテナパーツですが、テレビを見るためには無くてはならないものばかり。ご自宅のテレビ環境を整える前に、まずはそれぞれの役割をご確認ください。

13～62チャンネルを受信するUHFアンテナ。
地上デジタル放送もこのアンテナで受信します。



詳しくは図・7ページへ

アンテナを設置する時にBS/UHFチェッカーを使用すれば、電波の強い方向が分かるので、設置がスムーズにおこなえます。



詳しくは図ページへ

建物全体へ行き渡らせるために電源分離型ブースターを使ってあらかじめ電波を増幅します。



詳しくは図・8ページへ

衛星放送用アンテナでCS-BS放送を受信します。



詳しくは図ページへ

アンテナアクセサリを使って屋外へのアンテナ設置。

詳しくは図・10・12ページへ

分配器を使って各部屋へ配信!



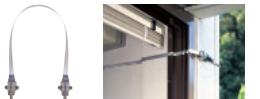
詳しくは図・20・21ページへ

とりあえず一ヶ所で見たい時は、ペランダなどにアンテナ取付金具を用いてアンテナを設置します。



詳しくは図ページへ

フリーケーブルを使えば窓枠を使って室内へ簡単に配線できます。



詳しくは図ページへ

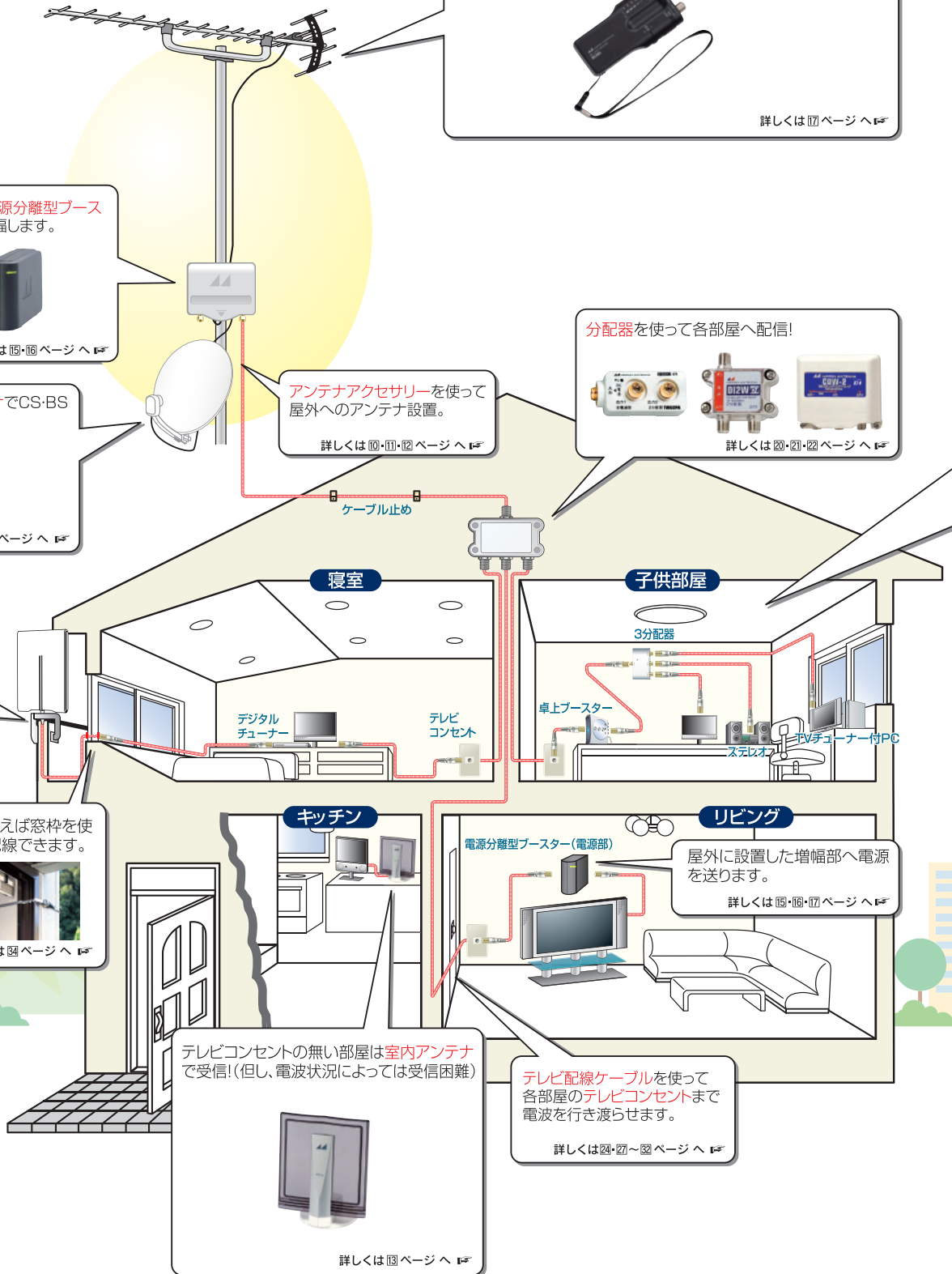
テレビコンセントの無い部屋は室内アンテナで受信!(但し、電波状況によっては受信困難)



詳しくは図ページへ

テレビ配線ケーブルを使って各部屋のテレビコンセントまで電波を行き渡らせませす。

詳しくは図・27～28ページへ



お部屋の中のテレビ配線は？

「テレビの台数」や「テレビ放送の種類」が増えるにしたがって
テレビ配線のしかたが変わります。

お部屋の
テレビコンセント



卓上ブースター
詳しくは 図 ページ へ



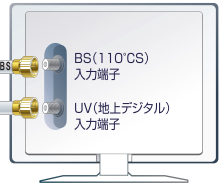
2分配器
詳しくは 図・図・図 ページ へ

詳しくは 図・図・図 ページ へ

CS-BS/UV分波器



地上デジタルチューナー
内蔵テレビ (2入力タイプ)



分配器を追加すると電波が弱まってしまうので、画面にモザイク状のブロックノイズが現れる事があります。



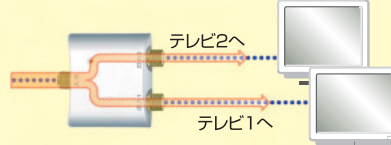
ブロックノイズ
(デジタル放送の場合)

分配器の手前にブースターを挿入すると電波を増幅する事ができるので、不良画面を改善する事ができます。



正常画面

テレビの台数を増やしたい時に分配器を用品。



但し、分配数に応じて電波が弱まってしまう(等分される)ので注意が必要。

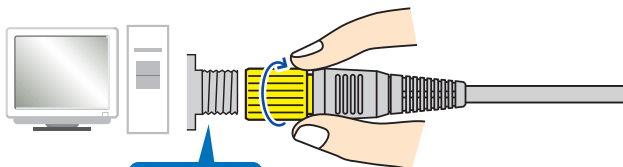
(画像が劣化した場合はブースターを検討する)

イラスト中の破線「.....」はテレビ接続ケーブル

(詳しくは 図~図 ページ へ)

■テレビチューナー付パソコンへの接続

通常のテレビ配線同様に、テレビ接続ケーブルを直接本体に接続します。



パソコンの
テレビ入力端子
(F型端子)

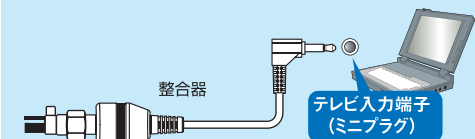
しっかり確実に接続できるF型コネクターや
スクリュープラグがお勧め。

TVチューナー付ノートパソコンや小型テレビの入力端子は...

ではなく の場合があります。

(通常のF型) (φ3.5ミニプラグ型)

そんな時は**整合器**でミニプラグ用に変換してから接続します。



テレビ入力端子
(ミニプラグ)

詳しくは 図 ページ へ